

ご案内 兵庫県保険医協会神戸支部

在宅医療研究会

- ①業者から見た診療報酬改定後の実態
- ②在宅における睡眠検査と合併症

日時 **5月16日(土)** 14:30~16:00
 会場 兵庫県保険医協会6階会議室(各線元町駅から南に徒歩7分)
 講師 ミヤコ在宅医療サービス株式会社第一営業部課長

東野 健悟 氏

参加費無料

共催 ミヤコ在宅医療サービス株式会社

① 業者から見た診療報酬改定後の実態

2014年診療報酬改定に伴い、在宅医療の点数にも少なからず影響がありました。居宅の訪問診療については大きな変更点はありませんでしたが、施設系の点数は大きく変更があり、施設を中心に診療している医療機関は収益面で大きな打撃を受けました。

約1年が経過し施設を訪問する医療機関は二分化され、現状どのような工夫をしているのか、また患者様はより良い医療を提供してもらっているのかを在宅酸素業者から見た目で報告させていただきます。

② 在宅における睡眠検査と合併症

昨今、社会現象にもなりメディアでも多く取り上げられている睡眠時無呼吸症候群について、より詳しく説明し理解を深めていただきます。

睡眠時無呼吸症候群の潜在患者を発掘し、どのようなアプローチで検査・治療を行うかを成功・失敗事例を含めご案内します。(東野 記)

お問合せは協会担当事務局(栗山・納富)まで/TEL:078-393-1807/E-mail: kuriyama@doc-net.or.jp

FAX 返信 078-393-1802 5/16 神戸支部在宅医療研究会

参加人数()人 地区 _____ 医療機関名 _____

ご氏名 _____

TEL _____ FAX _____

兵庫県保険医協会

279号 2015年4月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

健康と医療について語り合う会

健康に生きるため 今から糖尿病予防を

神戸支部も協力する聴覚障害者の医療を考える会(いのちを考える会)は3月26日に、あすてっぷKOBEで学習会を開催した。長田区・山本クリニック院長の山本貴敏先生が「糖尿病性腎症～痛みはない、今のところ問題もない、それでもダメですか?～」をテーマに講演し、市民、聴覚障害の方を中心に17人が参加した。参加者の感想文を紹介する。



講師の山本貴敏先生が糖尿病について解説

今回の第154回「いのち」を考える会に参加させていただき、前回よりまた深く「糖尿病性腎症」について学せていただきました。

早期腎症の診断は微量のアルブミン尿の出現により行われます。アルブミン尿の名も知らなかった私は、恥ずかしい思いです。高血圧・糖尿があれば、必ずアルブミンを測定していただくよう気をつけなくてはなりません。次に血糖コントロール目標ですが、高血糖が20年続くと腎症が出るので、高いと気付いた時から真面目に向かい合ったほうが良いで

す。食事など大変でしょうが、命がかかっています。講師の山本貴俊先生がまとめて、「一発逆転ホームラン」はないとおっしゃっていました。病状に応じて、血圧管理、血糖管理HbA1cの値が7%より少ないことを目標とする。インスリン注射の必要な時は注射を受ける。普通、血糖値は空腹時の数値を参考にすけれど、食後数時間の値を参考にしなければならない。それをHbA1cと学びました。

糖尿病についての注意は、血圧・血糖値・食事・悪玉コレステロールの管理な
----- (2面に続く)

(1面から続く)-----
どですが、昔、ヨーロッパの貴婦人方は、美しいプロポーションを守るために食事にとっても気配りをされたとか。まず食事の時は、サラダなど野菜・果物を先に摂る。先に食べたものから臓器は消化吸収する特徴があるので、食べる順番も大い

に影響するということです。「人間は生きるために食べる」ということを忘れずに、「神様からいただいた命を大切にしなければいけない」と、この153回「糖尿病性網膜症」・154回「糖尿病性腎症」の学習会に参加できて感謝です。

【参加者・林 節子】

第87回評議員会

5月17日(日) 協会5階会議室

特別講演 16時～ 県農業会館10階101・102

テーマ「報道現場から見た安倍政権」

講師 TBS執行役員、『報道特集』キャスター 金平 茂紀氏



【略歴】1977年TBSに入社。社会部、『JNNニュースコープ』副編集長、『筑紫哲也 NEWS 23』編集長を務め、2008年からはアメリカ総局長として、アメリカを中心に取材を続ける。2010年にTBS執行役員に就任。『報道特集』のメインキャスターを務めている。2004年度「ボーン・上田記念国際記者賞」を受賞。

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1807 まで

お知り合いの先生をご紹介ください

協会は4月1日から6月30日までを春の組織強化月間・共済普及期間として活動します。お知り合いの先生やご子息・ご親族など、まだ協会にご入会でない先生がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介やお声かけにご協力ください。

お問い合わせは協会組織部(TEL:078-393-1817)まで

開業医手作り 健康情報テレホンサービス

月替わり健康情報 ☎0120-979-451



4月のテーマ

- 月曜日 おうはん 加齢黄斑変性症
- 火曜日 ストレスが原因の歯の病気
- 水曜日 リウマチと間違えやすい手の変形
- 木曜日 放っておくと危ない「悪玉めまい」
- 金土日 日光角化症(老人性角化腫)

5月のテーマ

- 月曜日 ようれんきん 小児の溶連菌感染症
- 火曜日 よく噛むことと認知症予防
- 水曜日 しゅこんかん 手のしびれ～手根管症候群～
- 木曜日 鼻血が出たら
- 金土日 働く人のメンタルヘルス

患者さんにオススメください!

国会要請行動

3万筆を超える署名 議員へ直接届ける



民主・松本剛明衆院議員(右)へ署名を提出する
武村副理事長(左)と正木理事(中央)

協会が取り組んでいる「ストップ患者負担増署名」は4月22日現在で、33304筆が集まった。うち神戸支部では104名の先生の協力のもと、5747筆が集められた。協会に寄せられた署名は、毎月の中央要請行動で、紹介議員を引き受けてくれたそれぞれの国会議員に直接手渡しで提出している。

3月19日の中央要請行動では、正木茂博理事と、神戸支部から武村義人副理事長が、4月16日の中央要請行動では谷端美香評議員と、神戸支部から吉岡正雄副理事長が参加した。

また3月19日には、国会内で開催された「安全・安心の医療・介護を」国会内集会にも参加し、武村副理事長が発言。患者から「60日分処方された薬を1日おきに飲み、3～4カ月ごとに受診している。それでも医療費が高い」と相談が寄せられたことを紹介した。

いよいよ医療保険制度改革関連法案の審議が始まった。国会に医師・歯科医師と患者さんの声を届けるため、国会行動への参加と、署名へのご協力をよろしくお願いします。

(希望される方は078-393-1807まで)

目標まで残り1万6千筆あまり
目標達成へ向け、神戸支部の先生方のもう一回りのご協力を!

「ストップ患者負担増署名」各医療機関のご協力を!

目標 5万筆

新たな患者負担増をやめ、窓口負担の大幅軽減を求める請願

ご記入欄

お名前

ご住所

ご職業

ご意見

ご署名

患者負担もこれ以上増やさず、窓口負担を大幅に軽減してください。

保険のきかない医療を広げる対策をやめ、必要な医療は公的保険で保障してください。

お問い合わせ・追加注文は
TEL078-393-1807(政策部)まで

